

# 酒田市林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計画期間

自 令和 3年 4月 1日

至 令和13年 3月31日



酒田市農林水産部農林水産課

令和 2年12月

## 1. 基本的事項

本市では、令和3年3月時点で林道施設である林道橋を41橋管理しており、全体の約5割が架設後50年を経過している（表1・図1）。また、10年後には約8割、20年後には約9割の林道橋が架設後50年を経過することとなる（図2）。

財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和43年3月31日大蔵省令第15号）」によると橋りょうの耐用年数は60年であるが、既に耐用年数を超えている林道橋は7橋存在しており、今後大規模補修や架替が集中し維持管理経費が急増する状況にある。

林道施設の定期的な点検・診断により現状を把握するとともに、維持管理等にあたって持続可能なメンテナンスサイクルを構築し、林道施設が求められる機能を適切に発揮し続けるための長寿命化、維持管理費用の縮減及び平準化を図ることが重要である。

なお、本計画は本市が行動計画として平成29年3月に策定した「酒田市公共施設等総合管理計画」に則ったものであり、林道施設の1つである林道橋の個別施設計画として位置付けるものである（図3）。

表1 管理する林道橋の種別等

橋種別	鋼橋	8橋 (19%)	架設後経過年数別	50年以上	21橋 (51%)
	RC橋	29橋 (71%)		40～49年	11橋 (27%)
	PC橋	4橋 (10%)		30～39年	5橋 (12%)
橋長別	15m以上	5橋 (12%)		20～29年	3橋 ( 8%)
	15m未満	36橋 (88%)		10～19年	1橋 ( 2%)

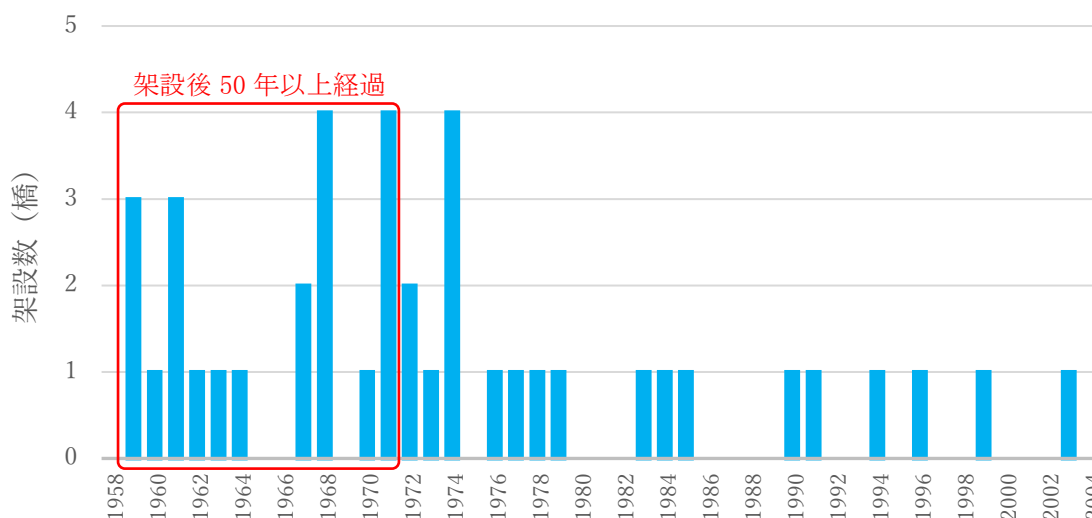


図1 林道橋架設数の推移

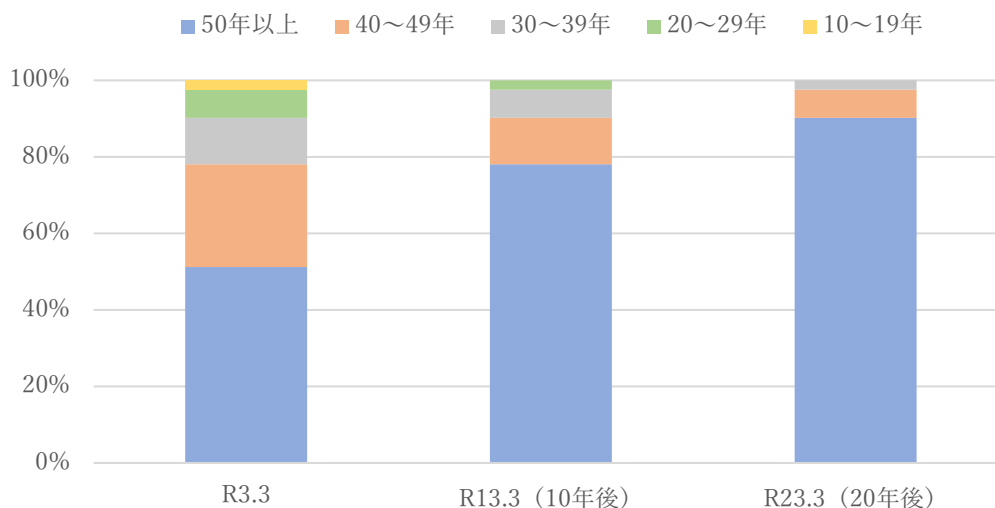


図2 架設後経過年数別割合の推移

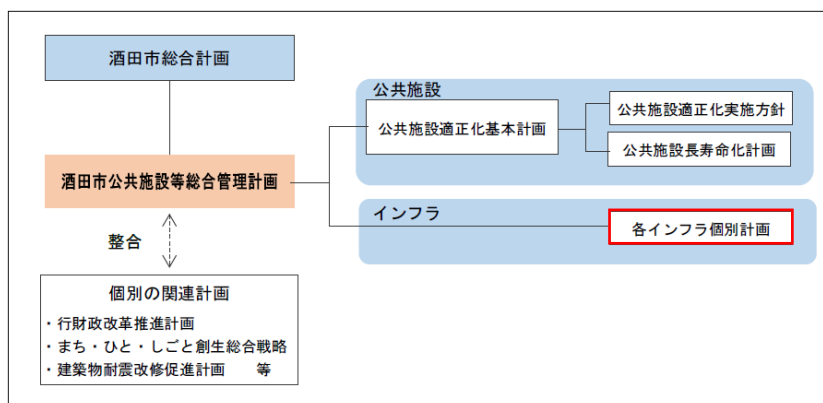


図3 本計画の位置付け

## 2. 対象施設

本計画の対象とする施設は本市が管理するすべての林道橋とし、詳細は別紙(一覧表)のとおりである。なお、管理する林道橋の損傷状況を定期点検により把握し、健全性<sup>※</sup>の判定により老朽化対策の必要性及びその緊急性を評価する。

### ※ 健全性について

- ・「健全性」とは、表2に示すように、林道施設長寿命化対策マニュアル(平成28年3月林野庁作成)に従い4段階の判定区分とし、橋りょうの健全性を表す指標である。
- ・健全性の診断は林道橋1橋単位で行い、部材単位で補修や機能強化の必要性当を評価する点検とは別に、総合的な評価を付けるものとする。

表2 健全性の判定区分

区分		状態
I	健全	橋りょうの機能に支障が生じていない状態 (損傷が軽微で経過観察で問題がない状態)
II	予防保全段階	橋りょうの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	橋りょうの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態 「早期に」とは5年程度以内には補修等を行う必要がある状態をいう
IV	緊急措置段階	橋りょうの機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

### 3. 計画期間

本計画における施設ごとの計画期間は別紙（一覧表）のとおりである。

### 4. 施設の優先度

本計画における施設ごとの優先度は別紙（一覧表）のとおりとし、損傷の程度のほか交通量、森林施業や代替路線の有無などを考慮して決定する。

### 5. 施設の状態等

対象の林道橋について点検を実施した結果、軽微でない損傷が認められた林道橋（健全性ⅡまたはⅢ）は15橋（全体の37%）、うち早期に補修の必要がある林道橋（健全性Ⅲ）は6橋（全体の15%）であった（表3）。なお、林道崩落等により現地踏査できない3橋については点検不可となっており、林道の復旧完了後すみやかに点検を実施する。

林道橋ごとの詳細な状態については別紙（個票）のとおりである。

表3 林道橋の点検結果 (R1 点検完了時点)

健全性	I	II	III	IV	点検不可	合計
橋梁数	23 橋 (56%)	9 橋 (22%)	6 橋 (15%)	0 橋 (0%)	3 橋 (7%)	41 橋 (100%)
鋼橋	0 橋 (0%)	6 橋 (14%)	0 橋 (0%)	0 橋 (0%)	2 橋 (5%)	8 橋 (19%)
RC 橋	19 橋 (46%)	3 橋 (8%)	6 橋 (15%)	0 橋 (0%)	1 橋 (2%)	29 橋 (71%)
PC 橋	4 橋 (10%)	0 橋 (0%)	0 橋 (0%)	0 橋 (0%)	0 橋 (0%)	4 橋 (10%)

※林道崩落等により 3 橋は点検不可

## 6. 対策内容と実施時期

「4. 施設の優先度」及び「5. 施設の状態等」を踏まえ、施設ごとに講じる対策の内容及び実施の時期について別紙（一覧表）のとおり計画する。実施の時期について、健全性Ⅱの林道橋は次回の定期点検時までには健全性Ⅲへと進行しないよう日常の維持管理の中で予防的な対策の実施に努め、健全性Ⅲの林道橋は測量設計等の事前準備を行いながら計画的な修繕に当たることとする。なお、他林道橋の実施や予算状況を考慮し柔軟な運用に努める。

## 7. 対策費用

個別施設ごとの対策費用（概算）については別紙一覧表のとおりである。なお、この金額は計画策定時点におけるものであり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により金額に変動が生じる場合がある。



個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点 からの 距離 (m)	建設 年度	供用 年数 R3時点	種別	型式	道路橋 示方書	橋格 (設計 荷重)	橋下 条件	橋長 (m)	全幅 (m)	上部工 型式	橋台 型式	橋脚 型式	施設の現況			計画内容				優 先 度	措置記録					備 考		
																			点検実施 年月日	判定 区分	所見等	計 画 期 間	内 容		実 施 予 定 時 期		対 策 費 用 (千円)	実 施 年 月 日	内 容		再 判 定 年 月 日		再 判 定 区 分	
																							分 類	概 要 (数 量)					分 類	概 要 (数 量)				
<a href="#">平215-01</a>	4937	鶯沢線	自動車道2級	1号橋	田沢字別当坂	500	H3	30	PC橋	コンクリート床版橋	不明	TL-14	河川	10.0	4.8	PC床版橋	重力式	-	R1.12.26	I	健全	R3 ~ R12	経過観察	定期点検	R6	400	低							
<a href="#">平219-01</a>	4935	東部2号線	自動車道2級	1号橋	山元字三栗谷	2,532	H8	25	PC橋	コンクリート床版橋	不明	TL-14・ 2等橋	河川	10.5	5.2	PC床版橋	重力式	-	R1.12.26	I	健全	R3 ~ R12	経過観察	定期点検	R6	400	低							
<a href="#">平221-01</a>	4938	小升田線	自動車道2級	小升田橋	橋山字村東	10	H6	27	鋼橋	鋼桁橋	不明	TL-14・ 2等橋	河川	26.8	4.8	鋼桁橋	重力式	-	R1.12.26	II	支承の腐食等	R3 ~ R12	経過観察	定期点検	R6	700	中							
<a href="#">平224-01</a>	3824	羽州湯の里線	自動車道1級	かぶと沢橋	山元字奥山	-	H11	22	鋼橋	鋼桁橋	不明	A活荷重	不明	30.2	6.2	鋼桁橋	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							道路崩落により到達 不可(未点検)
<a href="#">平301-01</a>	4927	川上線	自動車道3級	村上橋	小林字天入坊	633	S54	42	PC橋	コンクリート床版橋	不明	TL-14・ 2等橋	河川	11.4	4.8	PC床版橋	重力式	-	R1.12.26	I	舗装面の滞水	R3 ~ R12	経過観察	定期点検	R6	700	低							
<a href="#">平304-01</a>	4928	滝ノ下線	自動車道3級	1号橋	山元字馬下沢	785	S38	58	RC橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	6.4	-	RC床版橋	重力式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							道路崩落により到達 不可(未点検)
<a href="#">平304-02</a>	4928	滝ノ下線	自動車道3級	2号橋	山元字三栗谷	53	S42	54	RC橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	5.4	3.5	RC床版橋	重力式	-	R1.12.26	I	防護柵の一部欠損	R3 ~ R12	経過観察	定期点検	R6	0	低							定期点検は直営実施
<a href="#">平305-01</a>	4932	鷹尾山線	自動車道3級	1号橋	山谷新田字大沢	442	S34	62	RC橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	4.5	3.0	RC床版橋	重力式	-	R2.1.16	III	床版鉄筋露出	R3 ~ R12	補修	断面修復 V=0.01m <sup>3</sup>	R3	390	高							
<a href="#">平305-02</a>	4932	鷹尾山線	自動車道3級	2号橋	山谷新田字大沢	596	S34	62	RC橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	4.5	3.5	RC床版橋	重力式	-	R2.1.16	II	床版ひびわれ	R3 ~ R12	経過観察	定期点検	R6	400	中							

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	本202-01	林道台帳索引番号	4833	施設管理者	酒田市
路線名	通越線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	-
施設の所在地	北沢字水上	起点からの距離	600 m	建設年度	S35
供用年数	61	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	5.0 m		幅員（有効幅員）	3.6m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	13.0 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	床版鉄筋露出、路面の土砂詰まり				
	健全性の診断結果	Ⅲ （早期措置段階）	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	補修	断面修復 V=0.01m <sup>3</sup>			
	実施予定時期	R3				
	施設の優先度	高	（優先度の考え方） 定期点検の結果早期措置が必要な状態であったことから優先度は「高」とした。			
	対策費用（概算）	390 千円				
管理方法	長寿命化対策として床版の断面修復工を実施する。また、5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）	0.4			0.4					0.4	
対策内容・実施時期	補修			定期点検					定期点検	

備考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	本301-01	林道台帳索引番号	4834	施設管理者	酒田市
路線名	大平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	生石字上坂	起点からの距離	835 m	建設年度	S58
供用年数	38	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	4.3 m	幅員（有効幅員）	4.0m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋		
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし
		橋台工型式	重力式		基礎形式
橋脚工型式	-		海岸からの距離	13.1 km	
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。				

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日	
	調査結果	舗装面土砂溜まり	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障は生じていない。
	劣化原因	排水不良	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度	
	内容	経過観察	定期点検
	実施予定時期	R6	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。
	対策費用（概算）	400 千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。		

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	本301-02	林道台帳索引番号	4834	施設管理者	酒田市
路線名	大平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	3号橋
施設の所在地	北沢字鷹尾山	起点からの距離	1147 m	建設年度	S60
供用年数	36	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	4.3 m		幅員（有効幅員）	4.0m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	13.2 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	床版ひびわれ				
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。			
	対策費用（概算）	400 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	八202-01	林道台帳索引番号	5769	施設管理者	酒田市
路線名	不動沢支線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	-
施設の所在地	下黒川字谷地田	起点からの距離	763 m	建設年度	S37
供用年数	59	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長	4.3 m	幅員（有効幅員）	4.0m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋		
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし
		橋台工型式	重力式	基礎形式	不明
橋脚工型式	-	海岸からの距離	12.5 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、農地も広がっていることから農耕者の利用も多い。				

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年3月12日	
	調査結果	床版の一部鉄筋露出と剥離	
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	経年劣化	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度	
	内容	補修	断面修復 V=0.01m <sup>3</sup>
	実施予定時期	R3	
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。
	対策費用（概算）	390 千円	
管理方法	長寿命化対策として床版の断面修復工を実施する。また、5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。		

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）	0.4			0.4					0.4	
対策内容・実施時期	補修			定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	八206-01	林道台帳索引番号	4874	施設管理者	酒田市
路線名	黒沢線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	大蔵字上黒沢	起点からの距離	45 m	建設年度	S43
供用年数	53	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	4.0 m		幅員（有効幅員）	4.1m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.5 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月21日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

個別施設整理番号	八208-01	林道台帳索引番号	4876	施設管理者	酒田市
路線名	塚沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	-
施設の所在地	北青沢字塚沢	起点からの距離	0 m	建設年度	S46
供用年数	50	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	4.3 m		幅員（有効幅員）	4.0m（3.5m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年3月12日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

個別施設整理番号	八208-02	林道台帳索引番号	4876	施設管理者	酒田市
路線名	塚沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	北青沢字塚沢	起点からの距離	392 m	建設年度	S46
供用年数	50	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	8.6 m		幅員（有効幅員）	4.1m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.2 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年3月12日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										
定期点検は直営で実施する。										

個別施設整理番号	八208-03	林道台帳索引番号	4876	施設管理者	酒田市
路線名	塚沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	北青沢字塚沢	起点からの距離	460 m	建設年度	S47
供用年数	49	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	13.0 m		幅員（有効幅員）	4.1m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.2 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年3月12日				
	調査結果	防護柵の一部欠損 舗装面の土砂溜まり				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	八209-01	林道台帳索引番号	2401	施設管理者	酒田市（併）
路線名	大平沢丸山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	-
施設の所在地	下青沢字大平沢	起点からの距離	6744 m	建設年度	S49
供用年数	47	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	13.5 m	幅員（有効幅員）	4.8m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	PC床版橋		
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし
		橋台工形式	重力式		基礎形式
橋脚工形式	-		海岸からの距離	13.5 km	
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道かつ本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、下青沢地区～北俣地区の連絡線形となっている。				

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月22日	
	調査結果	防護柵の一部腐食	
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。
	劣化原因	経年劣化	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度	
	内容	経過観察	定期点検
	実施予定時期	R6	
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。
	対策費用（概算）	700 千円	
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。		

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	八209-02	林道台帳索引番号	2401	施設管理者	酒田市（併）
路線名	大平沢丸山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大平沢1号橋
施設の所在地	下青沢字大平沢	起点からの距離	6578 m	建設年度	S49
供用年数	47	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	14t	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	12.5 m		幅員（有効幅員）	4.7m（4.0m）	
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋				
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	あり	
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	なし		
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.6 km			
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道かつ本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、下青沢地区～北俣地区の連絡線形となっている。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月22日					
	調査結果	主桁、支承等の腐食及び防食機能の劣化					
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。				
	劣化原因	経年劣化					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度					
	内容	経過観察	定期点検				
	実施予定時期	R6					
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。				
	対策費用（概算）	700 千円					
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、維持管理を適切に実施する。						

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	八209-03	林道台帳索引番号	2401	施設管理者	酒田市（併）
路線名	大平沢丸山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大平沢2号橋
施設の所在地	下青沢字大平沢	起点からの距離	6450 m	建設年度	S49
供用年数	47	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	14t	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	11.5 m		幅員（有効幅員）	4.7m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	不明	塗装使用の有無	あり
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	なし	
		橋台工形式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工形式	-		海岸からの距離	14.5 km		
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道かつ本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、下青沢地区～北俣地区の連絡線形となっている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月22日				
	調査結果	主桁、支承の腐食				
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。			
	対策費用（概算）	700 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	八211-01	林道台帳索引番号	4878	施設管理者	酒田市
路線名	貝沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	-
施設の所在地	升田字砂田	起点からの距離	493 m	建設年度	S48
供用年数	48	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	9.4 m		幅員（有効幅員）	4.2m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されているとともに、電力施設への経路にもなっていることから、電力事業者の利用も多い。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年1月21日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	500 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.5					0.5	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	八211-02	林道台帳索引番号	4878	施設管理者	酒田市
路線名	貝沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	-
施設の所在地	升田字上向	起点からの距離	1434 m	建設年度	S49
供用年数	47	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	11.8 m		幅員（有効幅員）	4.3m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RCT桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されているとともに、電力施設への経路にもなっていることから、電力事業者の利用も多い。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年1月21日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	500 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.5					0.5	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	八215-01	林道台帳索引番号	3784	施設管理者	酒田市
路線名	手代奥山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	沢石橋
施設の所在地	升田国有林内	起点からの距離	532 m	建設年度	S46
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	不明
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	30.8 m		幅員（有効幅員）	-（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	不明	塗装使用の有無	不明
		支承形式	不明	落橋防止の有無	不明	
		橋台工型式	不明		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	20.2 km		
施設の目的利用実態等	本路線は奥山林道黒瀬支線（庄内森林管理署管轄）終点を起点としているが、黒瀬支線が崩落に伴い通行止めとなっており、現在到達できない状況である。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	-				
	調査結果	道路崩落により到達不可（未点検）				
	健全性の診断結果	-				
	劣化原因					
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和 年度 ~ 令和 年度				
	内容	-				
	実施予定時期	-				
	施設の優先度	-	（優先度の考え方）			
	対策費用（概算）	-				
管理方法	奥山林道黒瀬支線復旧完了後すみやかに点検を実施する。					

対策費用（百万円）									
対策内容・実施時期									

備考

個別施設整理番号	八216-01	林道台帳索引番号	4883	施設管理者	酒田市
路線名	小芦沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	-
施設の所在地	北青沢字大芦沢	起点からの距離	718 m	建設年度	S51
供用年数	45	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	8.5 m	幅員（有効幅員）	4.5m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋		
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし
		橋台工型式	重力式		基礎形式
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.0 km	
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。				

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年3月12日	
	調査結果	舗装面の滞水、土砂溜まり	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障は生じていない。
	劣化原因	排水不良	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度 ~ 令和12年度	
	内容	経過観察	定期点検
	実施予定時期	R6	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。
	対策費用（概算）	500 千円	
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。		

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.5					0.5	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

個別施設整理番号	八218-01	林道台帳索引番号	3783	施設管理者	酒田市
路線名	石田新出線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	滝山1号橋
施設の所在地	大蕨字滝山	起点からの距離	1300 m	建設年度	S53
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	11.5 m		幅員（有効幅員）	4.7m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	不明	塗装使用の有無	あり
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	12.3 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、大蕨地区～新出地区の連絡線形となっている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月22日				
	調査結果	桁・排水管の腐食				
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。			
	対策費用（概算）	500 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.5					0.5	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	八227-01	林道台帳索引番号	3785	施設管理者	酒田市（併）
路線名	奥山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	石滝橋
施設の所在地	升田字石滝	起点からの距離	397 m	建設年度	S34
供用年数	62	種別	RC橋	型式	コンクリート桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	14t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長	8.0 m		幅員（有効幅員）	4.0m（3.6m）	
	施設の構造等	上部工形式	RCT桁橋				
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし	
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし		
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.5 km			
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道となっており、本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年3月30日					
	調査結果	主桁や床版のひびわれ・鉄筋露出、A1橋台の洗堀					
	健全性の診断結果	Ⅲ （早期措置段階）	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。				
	劣化原因	経年劣化					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度					
	内容	補修	断面修復 V=0.1m <sup>3</sup> ひびわれ補修 L=10m				
	実施予定時期	R4					
	施設の優先度	高	（優先度の考え方） 定期点検の結果早期措置が必要な状態であったことから優先度は「高」とした。				
	対策費用（概算）	1,500 千円					
管理方法	長寿命化対策として断面修復工及びひびわれ補修工を実施する。また、5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。						

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）		1.5		0.7					0.7	
対策内容・実施時期		補修		定期点検					定期点検	

備考										



個別施設整理番号	八227-02	林道台帳索引番号	3785	施設管理者	酒田市（併）
路線名	奥山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	熊沢橋
施設の所在地	升田字伐透し	起点からの距離	795 m	建設年度	S39
供用年数	57	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	14t	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	15.5 m		幅員（有効幅員）	4.7m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.5 km		
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道となっており、本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年3月30日				
	調査結果	主桁・支承等の腐食				
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。			
	対策費用（概算）	700 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

個別施設整理番号	八301-01	林道台帳索引番号	4871	施設管理者	酒田市
路線名	常禅寺線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	常禅寺字沢ノ内	起点からの距離	354 m	建設年度	S43
供用年数	53	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	6.4 m		幅員（有効幅員）	3.4m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	10.9 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月22日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

個別施設整理番号	八301-02	林道台帳索引番号	4871	施設管理者	酒田市
路線名	常禅寺線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	常禅寺字沢ノ内	起点からの距離	869 m	建設年度	S43
供用年数	53	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	6.4 m		幅員（有効幅員）	3.0m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	10.9 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年1月22日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	八301-03	林道台帳索引番号	4871	施設管理者	酒田市
路線名	常禅寺線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	3号橋
施設の所在地	常禅寺字沢ノ内	起点からの距離	1092 m	建設年度	S43
供用年数	53	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	4.0 m		幅員（有効幅員）	3.2m（3.2m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	11.0 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月22日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

個別施設整理番号	八302-01	林道台帳索引番号	4872	施設管理者	酒田市
路線名	上草津線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	川の内橋
施設の所在地	草津字川ノ内	起点からの距離	366 m	建設年度	S42
供用年数	54	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	20.0 m		幅員（有効幅員）	3.6m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	不明	塗装使用の有無	あり
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	15.4 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月21日				
	調査結果	主桁・支承の腐食、防護柵の一部欠損				
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。			
	対策費用（概算）	700 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	松201-01	林道台帳索引番号	4901	施設管理者	酒田市
路線名	内山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	内山橋
施設の所在地	山寺字観音山	起点からの距離	23 m	建設年度	S45
供用年数	51	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長	7.4 m		幅員（有効幅員）	4.4m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	16.3 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月25日				
	調査結果	舗装面の土砂溜まり				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	排水不良				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										
定期点検は直営で実施する。										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	松204-01	林道台帳索引番号	4902	施設管理者	酒田市
路線名	臼ヶ沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	桑山橋
施設の所在地	臼ヶ沢字吉ヶ沢	起点からの距離	762 m	建設年度	S36
供用年数	60	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	5.0 m		幅員（有効幅員）	3.8m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19.1 km		
施設の目的 利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月25日				
	調査結果	床版のひびわれ・欠損				
	健全性の 診断結果	Ⅲ （早期措置段階）	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	補修	断面修復 V=0.01m <sup>3</sup>			
	実施予定時期	R3				
	施設の優先度	高	（優先度の考え方） 定期点検の結果早期措置が必要な状態であったことから優先度は「高」とした。			
	対策費用 （概算）	390 千円				
管理 方法	管理方法	長寿命化対策として床版の断面修復工を実施する。また、5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。				

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）	0.4			0.4					0.4	
対策内容・実施時期	補修			定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	松204-02	林道台帳索引番号	4902	施設管理者	酒田市
路線名	臼ヶ沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	上沢橋
施設の所在地	臼ヶ沢字吉ヶ沢	起点からの距離	1197 m	建設年度	S36
供用年数	60	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長	6.0 m		幅員（有効幅員）	4.1m（3.6m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19.3 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月25日				
	調査結果	床版の一部欠損、橋台のひびわれ				
	健全性の診断結果	Ⅲ （早期措置段階）	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	補修	断面修復 V=0.01m <sup>3</sup> ひびわれ補修 L=5m			
	実施予定時期	R4				
	施設の優先度	高	（優先度の考え方） 定期点検の結果早期措置が必要な状態であったことから優先度は「高」とした。			
	対策費用（概算）	700 千円				
管理方法	長寿命化対策として断面修復工及びひびわれ補修工を実施する。また、5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）		0.7		0.4					0.4	
対策内容・実施時期		補修		定期点検					定期点検	

備考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	松301-01	林道台帳索引番号	4907	施設管理者	酒田市
路線名	釣網沢線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	-
施設の所在地	臼ヶ沢字西山	起点からの距離	224 m	建設年度	S36
供用年数	60	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	10.0 m		幅員（有効幅員）	3.8m（3.5m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月25日				
	調査結果	床版欠損・鉄筋露出、橋台ひびわれ				
	健全性の診断結果	Ⅲ （早期措置段階）	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	補修	断面修復 V=0.1m <sup>3</sup> ひびわれ補修 L=20m			
	実施予定時期	R5				
	施設の優先度	高	（優先度の考え方） 定期点検の結果早期措置が必要な状態であったことから優先度は「高」とした。			
	対策費用（概算）	1,500 千円				
管理方法	長寿命化対策として断面修復工及びひびわれ補修工を実施する。また、5年に1回の定期点検を行い、維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）			1.5	0.4					0.4	
対策内容・実施時期			補修	定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	八209-04	林道台帳索引番号	2401	施設管理者	酒田市（併）
路線名	大平沢丸山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	弘法滝橋
施設の所在地	北俣字石原台	起点からの距離	732 m	建設年度	S47
供用年数	49	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	10.0 m		幅員（有効幅員）	4.6m（4.0m）	
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋				
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし	
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし		
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	17.6 km			
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道かつ本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、下青沢地区～北俣地区の連絡線形となっている。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日					
	調査結果	防護柵の腐食					
	健全性の診断結果	I（健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。				
	劣化原因	経年劣化					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度					
	内容	経過観察	定期点検				
	実施予定時期	R6					
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。				
	対策費用（概算）	700 千円					
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。						

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	平201-01	林道台帳索引番号	4929	施設管理者	酒田市
路線名	沢山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	中野俣字沢山	起点からの距離	97 m	建設年度	S59
供用年数	37	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	4.2 m		幅員（有効幅員）	3.8m（3.8m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19.2 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

個別施設整理番号	平204-01	林道台帳索引番号	4924	施設管理者	酒田市
路線名	相掛沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	中野俣字相掛沢	起点からの距離	176 m	建設年度	S52
供用年数	44	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	TL-14	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	6.5 m		幅員（有効幅員）	3.5m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.7 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、農地も広がっていることから農耕者の利用も多い。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	舗装面の滞水				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	排水施設の詰まり				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度 ~ 令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										
定期点検は直営で実施する。										

個別施設整理番号	平206-01	林道台帳索引番号	4926	施設管理者	酒田市
路線名	白石沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	4号橋
施設の所在地	中野俣字大平	起点からの距離	268 m	建設年度	S46
供用年数	50	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	5.4 m		幅員（有効幅員）	3.6m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19.8 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I（健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	400 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	平211-01	林道台帳索引番号	5810	施設管理者	酒田市
路線名	経ヶ蔵線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	中野俣字四十八坂	起点からの距離	220 m	建設年度	H15
供用年数	18	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	6.0 m		幅員（有効幅員）	3.5m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	20.5 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、登山道もあり利用客の通行も多い。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	400 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平214-01	林道台帳索引番号	4934	施設管理者	酒田市
路線名	土沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	土沢橋
施設の所在地	北俣字石山	起点からの距離	521 m	建設年度	H2
供用年数	31	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	TL-14・2等橋	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	10.5 m		幅員（有効幅員）	4.8m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	PC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	合成ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	16.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	700 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平215-01	林道台帳索引番号	4937	施設管理者	酒田市
路線名	鷺沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	田沢字別当坂	起点からの距離	500 m	建設年度	H3
供用年数	30	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	TL-14	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	10.0 m		幅員（有効幅員）	4.8m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	PC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.0 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月26日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	400 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平219-01	林道台帳索引番号	4935	施設管理者	酒田市
路線名	東部2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	山元字三栗谷	起点からの距離	2532 m	建設年度	H8
供用年数	25	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	TL-14・2等橋	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	10.5 m		幅員（有効幅員）	5.2m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	PC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	PC杭
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18.8 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。また、楯山地区～山元地区の連絡線形となっている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月26日				
	調査結果	特記事項なし				
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	-				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	400 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平221-01	林道台帳索引番号	4938	施設管理者	酒田市
路線名	小升田線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	小升田橋
施設の所在地	楯山字村東	起点からの距離	10 m	建設年度	H6
供用年数	27	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	TL-14・2等橋	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	26.8 m		幅員（有効幅員）	4.8m（4.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	あり
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	20.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月26日				
	調査結果	支承部の腐食、排水管の詰まり				
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。			
	対策費用（概算）	700 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平224-03	林道台帳索引番号	3824	施設管理者	酒田市（併）
路線名	羽州湯の里線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	かぶと沢橋
施設の所在地	山元字奥山	起点からの距離	-	建設年度	H11
供用年数	22	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	A活荷重	橋下条件	不明

施設概要	施設の規模	橋長	30.2 m		幅員（有効幅員）	6.2m（5.0m）
	施設の構造等	上部工形式	鋼桁橋			
			鋼製（使用鋼材）	不明	塗装使用の有無	不明
		支承形式	不明	落橋防止の有無	不明	
		橋台工型式	不明		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的 利用実態等	本路線は山元林道（庄内森林管理署管轄）終点部を起点としているが、山元林道が崩落に伴い通行止めとなっており、現在到達できない状況である。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	-				
	調査結果	道路崩落により到達不可（未点検）				
	健全性の 診断結果	-				
	劣化原因					
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和 年度 ~ 令和 年度				
	内容	-				
	実施予定時期	-				
	施設の優先度	-	（優先度の考え方）			
	対策費用 （概算）	-				
管理 方法	管理方法	山元林道復旧完了後すみやかに点検を実施する。				

対策費用（百万円）									
対策内容・実施時期									

備考									

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平301-01	林道台帳索引番号	4927	施設管理者	酒田市（併）
路線名	川上線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	村上橋
施設の所在地	小林字天入坊	起点からの距離	633 m	建設年度	S54
供用年数	42	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	TL-14・2等橋	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	11.4 m		幅員（有効幅員）	4.8m（4.0m）	
	施設の構造等	上部工形式	PC床版橋				
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし	
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし		
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	21.2 km			
施設の目的利用実態等	国有林林道との併用林道となっており、本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和1年12月26日					
	調査結果	舗装面の滞水					
	健全性の診断結果	I （健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。				
	劣化原因	排水施設の詰まり					
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度					
	内容	経過観察	定期点検				
	実施予定時期	R6					
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。				
	対策費用（概算）	700 千円					
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。						

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.7					0.7	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	平304-01	林道台帳索引番号	4928	施設管理者	酒田市
路線名	滝ノ下線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	山元字馬下沢	起点からの距離	785 m	建設年度	S38
供用年数	58	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	6.4 m		幅員（有効幅員）	-（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	20.0 km		
施設の目的利用実態等	本路線は起点から100m付近において崩落に伴う通行止めとなっており、現在1号橋には到達できない状況である。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	-				
	調査結果	道路崩落により到達不可（未点検）				
	健全性の診断結果	-				
	劣化原因					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 年度 ~ 令和 年度				
	内容	-				
	実施予定時期	-				
	施設の優先度	-	（優先度の考え方）			
	対策費用（概算）	-				
管理方法	崩落箇所の復旧完了後すみやかに点検を実施する。					

対策費用（百万円）									
対策内容・実施時期									

備考

個別施設整理番号	平304-02	林道台帳索引番号	4928	施設管理者	酒田市
路線名	滝ノ下線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	山元字三栗谷	起点からの距離	53 m	建設年度	S42
供用年数	54	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	5.4 m		幅員（有効幅員）	3.5m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19.2 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域は森林経営計画が認定されており整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月26日				
	調査結果	防護柵の一部欠損				
	健全性の診断結果	I（健全）	道路橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	経過観察	定期点検			
	実施予定時期	R6				
	施設の優先度	低	（優先度の考え方） 定期点検の結果健全であったため優先度は「低」とした。			
	対策費用（概算）	0 千円				
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.0					0.0	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考
定期点検は直営で実施する。

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平305-01	林道台帳索引番号	4932	施設管理者	酒田市
路線名	鷹尾山線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	山谷新田字大沢	起点からの距離	442 m	建設年度	S34
供用年数	62	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	4.5 m		幅員（有効幅員）	3.0m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋			
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無	なし
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.1 km		
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日				
	調査結果	床版鉄筋露出				
	健全性の診断結果	Ⅲ （早期措置段階）	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	補修	断面修復 V=0.01m <sup>3</sup>			
	実施予定時期	R3				
	施設の優先度	高	（優先度の考え方） 定期点検の結果早期措置が必要な状態であったことから優先度は「高」とした。			
	対策費用（概算）	390 千円				
管理方法	長寿命化対策として断面修復工を実施する。また、5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）	0.4			0.4					0.4	
対策内容・実施時期	補修			定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙（個票）

個別施設整理番号	平305-02	林道台帳索引番号	4932	施設管理者	酒田市
路線名	鷹尾山線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	山谷新田字大沢	起点からの距離	596 m	建設年度	S34
供用年数	62	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格（設計荷重）	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長	4.5 m	幅員（有効幅員）	3.5m（3.0m）
	施設の構造等	上部工形式	RC床版橋		
			鋼製（使用鋼材）	-	塗装使用の有無
		支承形式	-	落橋防止の有無	なし
		橋台工型式	重力式		基礎形式
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.2 km	
施設の目的利用実態等	本路線の利用区域には整備すべき森林が多く存在する事から、当該施設は森林組合等により利用されている。				

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月16日	
	調査結果	床版ひびわれ	
	健全性の診断結果	Ⅱ （予防保全段階）	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	経年劣化	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度	
	内容	経過観察	定期点検
	実施予定時期	R6	
	施設の優先度	中	（優先度の考え方） 定期点検の結果予防保全措置が必要な状態であったことから優先度は「中」とした。
	対策費用（概算）	400 千円	
管理方法	5年に1回の定期点検及び日常の維持管理を適切に実施する。		

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.4					0.4	
対策内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										